



★「ブックスタート」 ～4か月児健診で絵本をプレゼント～

乳児の健やかな成長を願い、親子の交流を深めてもらうため、生後4か月児健診の際に、数種類の絵本から気に入った1冊をプレゼントする「ブックスタート」を実施しています（健診の該当者には、個別に通知を送ります）。

また、健診会場では、NPO法人やボランティアグループの協力により、読み聞かせの体験も行われています。どんな読み方をすれば子どもが興味を持って、喜んでくれるかなどを学ぶことができます。



本との出会いを

本に親しむきっかけとして、絵本をプレゼントする「ブックスタート」や、子育て支援施設での絵本・紙芝居などを実施しています。



★子育て支援施設で 「絵本・紙芝居をみよう」

市内の子育て支援施設では月2回、市内の読み聞かせグループによる「絵本・紙芝居をみよう」を開催しています。

季節の絵本や、楽しい紙芝居など、どんなお話が聞けるかは、その日のお楽しみ。

【実施施設・日程】

- 地域子育て支援センター
第2・第4水曜日午前11時半～12時
- かるがも広場（べふこども園内）
第2・第4木曜日午前11時半～12時



▲読み聞かせグループによる紙芝居
▶手遊びなど、子どもを飽きさせない工夫も



- ①千里丘小学校・図書室
- ②4か月児健診（保健センター）
- ③市民図書館のおはなし会
- ④地域子育て支援センター

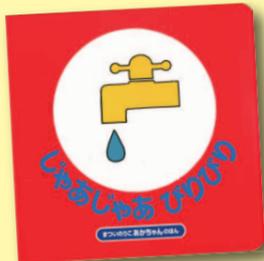
★読み聞かせを始める人向けのオススメ本

「のせてください」と、コップやスプーン、リンゴ、バナナ、ネコにネズミもやってきました。



「がたんごとんがたんごとん」
作：安西 水丸
(福音館書店)

「じゃあじゃあびりびり」
作・絵：まついのりこ
(偕成社)



じどうしやはびーびー。みずはじゃあじゃあ、かみはびりびり。いろいろなおとがきこえます。



「いないいないばあ」
文：松谷 みよ子
絵：瀬川 康男
(童心社)

ねこ、くま、ねずみ、のんちゃんもみんな、「いないいないばあ」をしてあげます。



「ころころころ」
作・絵：元永 定正
(福音館書店)

ちいさなたまが、ころころころころころがります。かいだんをころころころころみちをころころ。

「本は好きですか」

取材の際などに子どもに聞くと、ほとんどの子が「好き」と答えてくれました。

市では、子どもの時から本を好きになり、読書に興味を持ってもらえるよう、図書館や学校、子育て支援施設などで、さまざまな取り組みを行っています。

大人になるにつれ、読書から距離を置いてしまっています。10月27日～11月9日は読書週間です。「読書の秋」に子どもと一緒に図書館へ出掛けてみてはいかがでしょうか。

ずっと本を好きでいて 11月9日まで読書週間

おはなし会

次はどんなお話かな？



★図書館のおはなし会

市民図書館では毎週2回、鳥飼図書館センターでは毎週1回、館の職員やボランティアグループによる「おはなし会」を開催しています。市民図書館の毎月第4土曜日には手話を取り入れて「手話のおはなし会」を、毎月第2火曜日にはコミュニティプラザに出張して「出張おはなし会」も開催しています。また、夏休みや七夕など季節ごとに、ボランティアグループが一室に集まって、「特別おはなし会」も開催。外国語大学

【各図書館のおはなし会日程】

- 市民図書館
 - ▽毎週土曜日午後3時～3時半
 - ▽毎週木曜日午前11時～11時半（第2木曜日を除く）
 - 鳥飼図書館センター
 - ▽毎週土曜日午後2時半～3時
- ※いずれも、毎月の「広報せつづ」21ページに掲載

の学生を招いて行っている「外国語のおはなし会」や、夏には「怖いおはなし会」（子どもに合わせて、「ちょっと怖い」と「怖い」の2部制）など、趣向を凝らして開催しています。お気軽にご参加ください。

「読みメン」って？



お父さんやおじいさんなど、子どもに対して読み聞かせをする男性「読みメン」を増やしていくこととする取り組みが、全国で活発になっていきます。図書館でも男性職員によるおはなし会を行ったり、「読みメン向け図書紹介冊子」（次ページ下で一部を紹介）を作ったりするなど、取り組みを進めています。

手話のおはなし会

毎月第4土曜日に、市民図書館で、手話を交えたおはなし会を開催。



出張おはなし会

毎月第2火曜日に、コミュニティプラザに図書館の職員が出張しておはなし会を開催。



本が好きになる催し

ぬいぐるみのお泊まり会

お気に入りのぬいぐるみと一緒におはなし会に参加した後、ぬいぐるみが図書館にお泊まりします。

夜の図書館で、ぬいぐるみが絵本を楽しむ姿などを職員が撮影（左写真）し、アルバムにして、子どもがぬいぐるみを迎える際にプレゼントします。

ぬいぐるみの冒険を通じて、本と図書館に興味を持ってもらうのがねらいです。



「貸し出し」



「読み聞かせ」



「おやすみ」

↑↓いずれも、今月号21ページで募集！

ビブリオバトル

発表者は読んで面白いと思った本を持って集まり、順番に本を紹介しします。

それぞれの発表の後に、発表者と会場参加者全員で、ディスカッションを行い、「どの本が一番読みたくなったか」を基準に投票を行います。最多票を集めたものを「チャンプ本」とします。

発表者は、自分の本に一票が入った際は格別の喜びと話します。参加者も新しい本との出会いを楽しめます。



5分間で本を紹介



みんなでディスカッション



チャンプ本を決定！

図書館では毎月、さまざまな催しも行っています。本広報紙の21ページに毎月掲載しています。

こんなとき図書館が便利

★調べごとがしたい

図書館では、子どもが何かに興味を持ったとき、自分で調べごとがしやすいよう、「小学生向けパスファインダー」を配布しています。「摂津市」「職業」「地震・津波」など、さまざまなテーマごとに、キーワードやオススメの本、調べ方などを掲載しています。



★中高生向けの本は？

「生きる」「知る」「楽しむ」「進学・仕事」などのテーマで本を集めた、YA（ヤングアダルト）コーナーを設置しています。



★読みメン向けのオススメ本

「おとうさんはウルトラマン」
作・絵：みやにしたつや（学研プラス）
ウルトラマンの活躍に胸おどらせた子どもが今お父さんになった…。一生懸命まじめで不器用なウルトラ・パパの子育て絵日記。



「おうまさんしてー！」
作・絵：三浦太郎（こぐま社）
お父さんの背に乗った子どもが、次はお父さんと一緒にくまさんの背に乗って、次はおうまさん、ぞうさんと、どんどんエスカレート。



「おうまさんしてー！」
作・絵：三浦太郎（こぐま社）

「スプーンさん」
作：中川ひろたか
絵：100%ORANGE（ブロンズ新社）



スプーンさん とことこスプーンさん ぴよん ぴよん ぴよん……チャーミングなスプーンさんが、ページをめくるたびに大冒険。

「しょうぼうじどうしゃじぶた」
作：渡辺 茂男
絵：山本 忠敬（福音館書店）
豆消防自動車じぶたは小さなためにあまりみんなから相手にされません。ところが……。



「しょうぼうじどうしゃじぶた」
作：渡辺 茂男
絵：山本 忠敬（福音館書店）

★3～5歳児向けのオススメ本

「ねえ、どれがいい？」次々と繰り出される奇想天外な選択肢。子どもたちは「どれもイヤ」と言いながら大喜びであれやこれや悩みます。

「ねえ、どれがいい？」
作：ジョン・バーニンガム（評論社）



「はけたよはけたよ」
作：神沢 利子
絵：西巻 茅子（偕成社）
たつくんはひとりでパンツをはけない。裸のまんまで外にとびだしたら、動物たちに見られ、おしりにしっぽがないぞと笑われます。



「はけたよはけたよ」
作：神沢 利子
絵：西巻 茅子（偕成社）

★本の場所

①市民図書館

午前9時半～午後8時（土・日・祝日は午後6時まで）

※毎月第1・3月曜日、第2木曜日は休館日

☎06(6319)0577

約15万冊（うち児童向け図書は1万6,000冊）の蔵書を誇る市内最大の図書館。毎月、さまざまなイベントも開催（21ページ参照）。



②鳥飼図書センター

午前10時～午後6時半

※毎月第1・3月曜日、第2木曜日は休館日

☎072(653)1040

約7万冊の蔵書（うち児童向け図書は8,700冊でセンターの1階は全てが児童向け図書のコーナー）。毎月、さまざまなイベントも開催（21ページ参照）。



④新鳥飼公民館・図書室

午前9時～午後5時（平日の貸し出しは午後0時45分から、金曜日・祝日の貸し出しは不可）

※毎月第4金曜日は休館日

☎072(654)6954

一般書、児童書、紙芝居など約22,000冊。貸し出しは、1人2冊まで2週間（図書カードは不要）。



③千里丘公民館・図書フロア

午前10時～午後5時

※毎月第4金曜日は休館日

☎06(6387)5789

昨年6月に公民館がリニューアル。一般書、児童書、大型絵本など約5,000冊。貸し出しは、1人5冊まで2週間（図書カードは不要）。



⑤別府コミュニティセンター

午前9時～午後10時

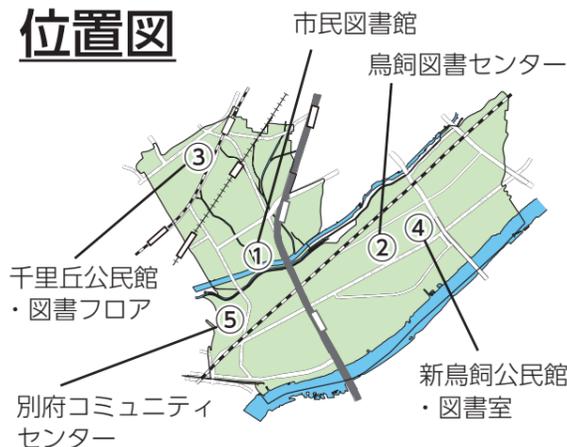
※毎月第4水曜日は休館日

☎06(6340)8155

一般書、児童書、大型絵本など約600冊。月に1回、絵本の読み聞かせグループによるおはなし会も開催（11月は15日㈪の午前10時半から）。貸し出し不可。



位置図



★北摂7市3町の図書館も利用可能に

今年7月から、本市在住の人は、豊中・池田・吹田・高槻・茨木・箕面・島本の豊能・能勢の各市町の図書館も利用可能になりました。
※貸し出しは、利用を希望する市町の図書館で「利用者カード」の作成が必要。住所などを確認できるもの（運転免許証・健康保険証など）を持参して、各図書館でお申し込みください。



■小中学校の本棚より

子どもたちが自然と本に親しめるよう、小中学校の図書室に学校読書活動推進サポーターを配置し、読書活動を応援する取り組みを行っています。今回は、千里丘小学校と第三中学校の図書室と、第五中学校区の民生・児童委員の取り組みを紹介します。

【千里丘小学校】



児童にいろいろな本を手にとってもらえるよう、表紙を見せて並べる「面陳列」の図書を多くしたり、子どもが興味を引きそうなテーマの本を集めたりしています。図書委員や児童がオ

ススメたい本を紹介するコーナーもあります。

また、PTAと協力して、ラックの設置や、室内の飾り付けも行っていきます。



▲テーマ図書のコーナー



▶PTAの協力で設置した回転ラック

★学校読書活動推進サポーター

「学校読書活動推進サポーター」は、図書室に常駐する本の専門家です。平成20年度から市内全小中学校の図書室に配置されています。

同サポーターの配置により、図書室が毎日開室でき

るようになり、夏休みなども利用できるようになりました。また、所蔵図書も充実しました。小学校で行っている「図書の時間」も、同サポーターが中心となって実施されています。



▲学校読書活動推進サポーターによる読み聞かせ

【第三中学校】

中学生になると、子どもの興味の幅が広がることから、スポーツ、仕事、哲学、科学、歴史、文学など、多様な図書を置いています。

クラブ活動として行っているものを中心として、スポーツ雑誌も毎月最新号を取り寄せています。

生徒は、今話題の本などにも敏感なため、図書室のサポーターも、大型書店や図書館などで流行をチェックし、対応できるようにしているそうです。

また、窓際などに観葉植物を設置し、図書室内の明るい雰囲気づくりに取り組んでいます。



▶スポーツ雑誌

▶観葉植物